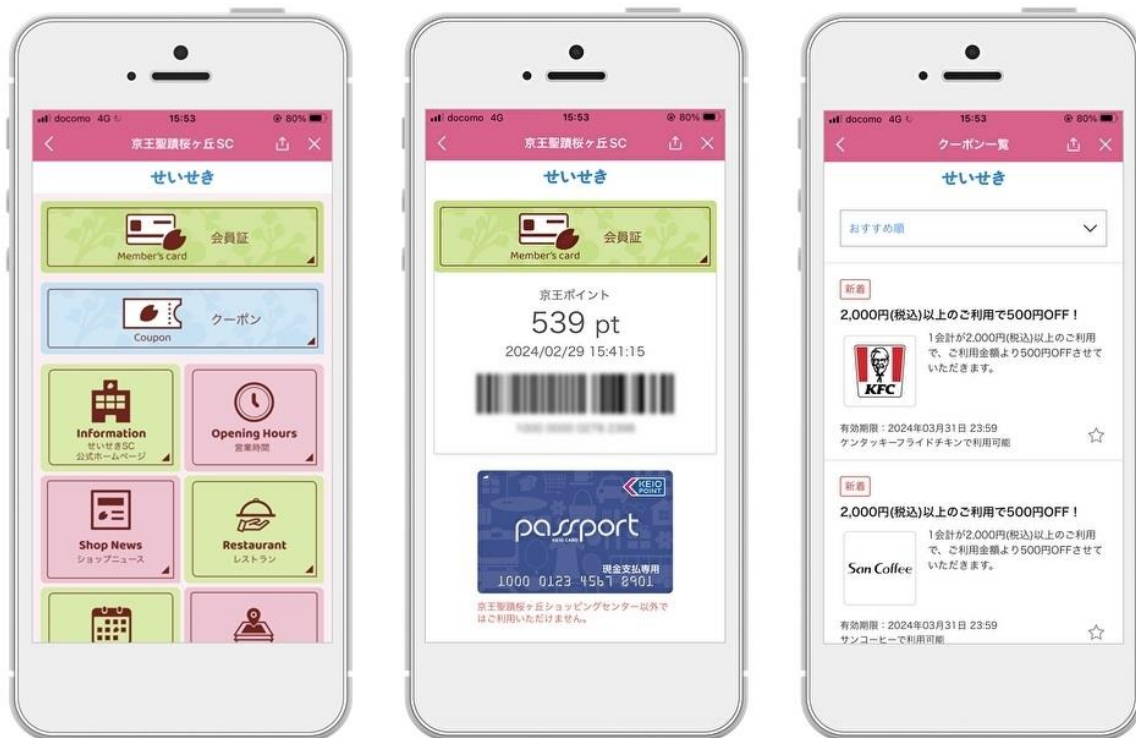


LINE ミニアプリ「せいせき 京王聖蹟桜ヶ丘 SC」を開発支援 ユーザー数 10 万人超と好調の「Keio BEAUTY」「京王百貨店 新宿店」に続く 京王グループ 3 例目の LINE ミニアプリがスタート

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）は、京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長 社長執行役員：都村 智史、以下「京王電鉄」）が 2024 年 2 月 27 日に提供開始した LINE ミニアプリ「せいせき 京王聖蹟桜ヶ丘 SC」を開発支援したことを発表します。

本アプリは京王パスポートカード会員のお客さま向けに、京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター（以下「京王聖蹟桜ヶ丘 SC」）の会員限定情報や特別優待などを提供し、売場の“ファンづくり”を行う LINE ミニアプリです。京王パスポートカード会員情報と LINE アカウントの紐付けにより、お客さま一人ひとりに合わせたコミュニケーションを実現し、販売活動や顧客サービスの DX を支援します。



ホーム画面 / デジタル会員証 / クーポン一覧

LINE ミニアプリ開発の背景

京王聖蹟桜ヶ丘 SC では、京王百貨店、京王ストア、京王アートマン等の京王グループ各店舗から、ファッションやグルメの専門店まで、多数のテナントで京王ポイントサービス「京王パスポートカード」が利用できます。今回、京王聖蹟桜ヶ丘 SC 共通の LINE ミニアプリを提供することで、今後、どこでも同じ LINE ミニアプリでポイントをためたり使ったり、便利なお買い物体験を提供できることを目指します。また、情報発信においては、これまで京王グループ各店舗と専門店と異なる LINE 公式アカウントが運用されていましたが、LINE ミニアプリと紐づく新たな LINE 公式アカウントも立ち上げ、情報集約による利便性向上も推進していきます。

「せいせき 京王聖蹟桜ヶ丘 SC」について

「せいせき 京王聖蹟桜ヶ丘 SC」は、京王パスポートカード会員向けに、デジタル会員証、会員限定クーポン、ショッピングニュースなどを提供します。京王パスポートカードをお持ちのお客さまは、店頭などに設置された QR コードや新 LINE 公式アカウント「せいせき LINE」から LINE ミニアプリ登録画面にアクセスし、京王パスポートカード会員情報を入力することで、会員限定の特別優待や自分に合ったサービスが受けられるようになります。

実施中のキャンペーン

- ・「せいせき LINE」新アカウント移行キャンペーン：2月27日（火）～3月31日（日）

新 LINE 公式アカウントへ友だち登録し、京王パスポートカード情報を登録していただいた方に、京王ポイント 100 ポイントをプレゼントします。京王パスポートカードをお持ちでないお客さまは、京王聖蹟桜ヶ丘 SC B 館 8F の「京王パスポートカードカウンター」もしくは京王パスポートカードクラブ HP からお申込みいただけます。

- ・春の LINE グルメクーポン 500 円 OFF：3月1日（金）～3月31日（日）

期間中、京王聖蹟桜ヶ丘 SC の飲食店 27 店舗で使える「500 円 OFF LINE グルメクーポン」を、LINE ミニアプリ登録済みの方（新 LINE 公式アカウントへ友だち登録し、京王パスポートカード情報を登録していただいた方）限定で配信します。対象店舗でクーポンをご提示いただくと 1 会計 2,000 円（税込）以上のご利用で、ご利用金額から 500 円割引になります。

キャンペーン詳細：<https://www.keio-sc.jp/special/?cd=000140>

今後の展望

京王聖蹟桜ヶ丘 SC では、京王線沿線や多摩地域のブルフリーと連携し開催している人気イベント「せいせきビールまつり」をはじめとして、地元や沿線各地域を巻き込んだ企画を多く実施しています。今後は地域の皆様に LINE ミニアプリ「せいせき 京王聖蹟桜ヶ丘 SC」の利用を広げ、ご利用状況に基づくより良いコミュニケーションを目指していきます。また、将来的には、各テナントの紙の DM のデジタル化にも活用していきたい考えです。

アイリッジは、京王百貨店が 2021 年より提供する LINE ミニアプリ「Keio BEAUTY」と「京王百貨店 新宿店」の開発支援実績から、本アプリの開発パートナーに選んでいただきました。今後も、アプリの拡張開発や活用提案、マーケティング支援を通じて、京王グループのファンづくりと DX を支援してまいります。

株式会社アイリッジ (<https://iridge.jp/>)

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline：オンラインとオフラインを統合したマーケティング活動）支援を行っています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績があり、手がけた OMO アプリの MAU（月間アクティブユーザー）は 8,000 万以上に達する業界のリーディングカンパニーです。さらに、リテールテック、フィンテック、MaaS、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。

2023 年 4 月からは急激な時代の変化に迅速に対応するための次世代型アプリビジネスプラットフォーム「APPBOX」も提供開始しました。「APPBOX」ではスクラッチ開発（ゼロからの開発）、他社開発アプリへの機能追加、パッケージアプリ提供が可能で、パッケージアプリでは従来のアプリを捨てることなく、スクラッチ開発に移行しての機能刷新も可能です。

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。